

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：教育企画課 H20 教育総務課] P.348

1201 小中学校適正規模適正配置審議会に要する経費 439,575 円 (783,362 円)

[一財 439,575 円]

#### 目的

取手市の児童生徒数の減少という現況を踏まえ、小中学校の適正規模や適正配置など教育環境の充実を図るため、教育委員会の諮問に応じて調査審議し、答申する。

#### 内容

取手市立小中学校適正規模及び適正配置の基本的な考え方と取手市立小中学校適正配置の具体的な方策について、今年度は5回審議会を開催し、答申を行った。

#### 効果

未来を担う子どもたちのための学習、生活の場としてふさわしい教育環境を創出するために、取手市立小中学校の適正規模・適正配置計画を策定するうえで、貴重な資料となった。

[担当：学務課] P.350

2201 通学送迎に要する経費 787,500 円 (952,560 円)

[国・県 275,000 円 一財 512,500 円]

#### \* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 275,000 円]

#### 目的

旧高須小学校が桜が丘小学校に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

#### 内容

登下校時に、桜が丘小学校と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 6年生：1人 2年生：1人

#### 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務課] P.350

2301 教育情報機器整備に要する経費 3,989,097 円 (0 円)

[一財 3,989,097 円]

#### 目的

ネットワーク配信コンテンツを活用できる教育環境を再構築することで、児童生徒の学習意欲の向上と確かな学力の育成を図る。

#### 内容

平成18年度で文部科学省の補助事業が終了したことに伴い、ネットワーク配信コンテンツを利用した教育環境を継続して確保するために、情報環境の再構築を図った。

#### 効果

ネットワーク配信コンテンツを利用することによって、児童生徒の情報活用能力の育成や、確かな学力向上を図ることができた。

### 1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育企画課 H20 教育総務課] P.350

2001 奨学生給付金 1,297,300 円 (1,142,500 円)

[その他 130,557 円 一財 1,166,743 円]

\* 特財内訳

[財産収入：奨学基金利子 130,557 円]

目的

経済的に修学が困難な高校生の保護者に対し、育英資金を給付し有為な人材を育成する。

内容 給付月額 9,900 円 (2、3 年生は 9,600 円)

年度	1 年生	2 年生	3 年生	合 計
H19	4 人	6 人	1 人	11 人
H18	6 人	1 人	3 人	10 人

効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

[担当：教育企画課 H20 教育総務課] P.350

2101 奨学生貸付金 6,360,000 円 (6,360,000 円)

[その他 6,360,000 円]

\* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 7,736,800 円(償還者数：35 名)のうち 6,360,000 円]

目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金の貸し付けをし、有為な人材を育成する。

内容

貸付額 ・国立大 30,000 円/月 ・私立大 40,000 円/月

年度	国立大	私立大	合 計
H19	3 人	11 人	14 人
H18	3 人	11 人	14 人

効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

### 1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.352

0501 教育振興に要する経費 74,753,054 円 (75,574,667 円)

[国・県 942,000 円 一財 73,811,054 円]

\* 特財内訳

[県委：学校体育研究推進校事業委託金 50,000 円]

[県委：環境教育推進事業委託金 75,000 円]

[県委：理科支援員等配置事業委託金 817,000 円]

#### 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育むことをねらいとして、教育の充実を図る。

#### 内容

- ・英語指導助手業務委託料 64,962,975 円

英語指導助手 14 人(中学校各校に 1 人配置、小学校は 3 校に 1 人配置)の派遣を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。

- ・特色ある学校づくり補助金 5,200,000 円

小・中学校における教職員、家庭、関係諸機関・団体と協力しながら、学校の活性化を図るとともに、特色ある学校づくりのための事業活動に対し、補助金を交付した。

小学校 200,000 円×18 校

中学校 200,000 円× 8 校

- ・現職教育振興事業補助金 500,000 円
- ・理科支援員等配置事業 817,000 円

小学校において、理科の授業での観察や実験活動等における教員の支援や、先端技術に関する実験等の演示・体験活動などを行う人材を派遣することにより、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図るとともに、小学校教員の理科指導力の向上を図った。

支援員 小学校 4 校(寺原小、井野小、白山西小、戸頭東小) 174 回

特別講師 小学校 5 校(井野小、吉田小、戸頭西小、山王小、藤代小) 8 回

- ・その他(需用費・負担金等) 3,273,079 円

#### 効果

各小中学校児童生徒の英語教育、及び国際理解教育の充実が図られた。また補助金を活用し、学校の活性化と特色ある学校づくりの推進が図られた。

[担当：指導課] P.354

2301 適応指導教室事業に要する経費 22,606,439 円(23,188,325 円)

[一財 22,606,439 円]

#### 目的

社会問題になっている、不登校児童生徒の問題や集団不適應の児童生徒に対応するため学校や関係諸機関との連携のもとに、児童生徒や保護者に適切な援助・指導を行う。

#### 内容

8 人の教育相談員と指導主事が、集団活動や教科指導、個別カウンセリング等を行い、児童生徒が徐々にコミュニケーション力を高め、学校や学級集団になじみ、不登校状態の児童生徒が学校生活に復帰できるよう援助し、また不登校等に関する保護者からの相談に応じた。

## 効果

平成 19 年度は小中学生計 14 人の通室者のうち、13 人が学校生活に復帰することができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H19	14 人	13 人	93%
H18	29 人	27 人	94%

[担当：指導課] P.356

2501 心の教室相談員研究活用事業に要する経費 1,315,000 円 (1,332,000 円)

[一財 1,315,000 円]

## 目的

生徒の悩みやストレスを和らげ、不登校の解消やいじめ問題の早期発見に努める。

## 内容

心の教室相談員 8 人 (中学校各校に 1 人) を配置し、生徒や保護者の悩み相談を行うとともに学区小学校との連携に努めた。

年 度	配置校数	不登校生徒数	いじめ件数
H19	8 校	76 人	33 件
H18	8 校	94 人	38 件

## 効果

生徒及び保護者の悩みの相談にあたり、思春期の生徒達の不安をやわらげることができた。また、子育ての中で生じる迷いや学校生活へ不安を抱く保護者に対して適切なアドバイスをすることで、親子間の関係改善や保護者と学校間の信頼関係をサポートすることができた。

[担当：指導課] P.356

2601 特別支援教育相談体制整備事業に要する経費 1,996,571 円 (747,000 円)

[国・県 707,000 円 一財 1,289,571 円]

\* 特財内訳

[県委：特別支援教育相談体制整備事業委託金 707,000 円]

## 目的

地域における特別支援教育相談体制を充実するとともに、小・中学校等における特別支援教育校内支援体制の整備と活用に関する研究を行う。

## 内容

### (1) 取手市支援会議の開催 3 回実施

LD・ADHD・高機能自閉症等を含めた障害のある幼児児童生徒に対する教育相談の整備を促進するため、特別支援教育相談員、学校長、学識経験者、関係機関の職員、教育委員会担当者(15 人) からなる取手市支援会議を設置した。

### (2) 特別支援教育相談チームによる相談活動

・相談員：市内小中学校の特別支援教育担当者 8 人、伊奈養護学校教諭 2 人

・相談件数

小中学校への巡回相談実施 13 件

合同相談会「ほのぼの相談会」 13 件

- (3) 特別支援教育モデル校の実践
  - ・研究モデル校：取手小、藤代南中
  - 筑波大学大学院准教授をアドバイザーとして招聘し、年間5回の研修会を実施
- (4) 特別支援教育相談員研修会
  - ・11月15日 相談員10名参加
- (5) 事業成果報告会（近隣市町村の教員76名参加）
- (6) 取手市特別支援相談員の配置(平成19年9月から)
  - ・市内幼児の就学相談及び小中学校で教育相談の実施
  - 未就学児：120件、小中学校：48件

効果

- ・相談チームの活用により、LD・ADHD・高機能自閉症等を含めた障害のある幼児児童生徒に対する教育相談体制が整備された。
- ・モデル校の研究実践により、障害のある幼児児童生徒の理解と支援方法についての校内支援体制が整備された。
- ・幼小中学校やこども発達センター等の関係機関との連携が図られた。

[担当：指導課] P.358

2901 問題を抱える子ども等の自立支援事業に要する経費 3,000,000円(0円)

[国・県 3,000,000円]

\* 特財内訳

[県委：問題を抱える子ども等の自立支援事業委託金 3,000,000円]

目的

隣接自治体の適応指導教室連携、家庭訪問、意識調査を行うことで、不登校傾向の児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、調査等に基づいて学校生活をきめ細かく支援する。

内容

- (1) 3市（取手市・守谷市・牛久市）適応指導教室間との連携を図り、学校復帰に向けたプログラムを研究し、実践した。
- (2) 不登校状態にある児童生徒の家庭訪問を行うことを通して、一人一人の児童生徒の支援に当たり、学校とのかかわりをもてるよう実践した。
- (3) 年間30日以上欠席者が減少した。（小中学生合計）  
平成18年度：114名 平成19年度：88名

効果

適応指導教室に通級している児童生徒が、隣接自治体との交流を通して集団活動でコミュニケーションを図ることができた。また、学級における集団生活満足度を調査し、児童生徒の自己理解の様子を知ることができた。

[担当：指導課] P.358

3601 「心の授業」「心の先生」講師派遣事業に要する経費 762,000円(786,000円)

[一財 762,000円]

目的

充実した道徳教育を進める一環として、外部講師を活用し、児童生徒の豊かな人間

性、生きることへの自覚を培う。

内容

文化人や哲学者、スポーツ選手などの著名人の他、郷土史家や在日外国人、企業経営者や消防隊員、地域の方、保護者等を「心の先生」として小中学校に派遣し、小中学校各クラス年間1回ずつ授業を行った。

講師謝礼 @3,000円×延活用回数254回=762,000円

効果

児童生徒は「心の先生」である、例えば戦争体験者からは平和の尊さについて、動物病院の獣医師からは命の大切さについて、貴重な話をうかがうことができた。実体験に基づいた話や生き方は児童生徒の道徳性を養い、道徳的価値を高めることができた。

[担当：指導課] P.358

4001 子どもと親の相談員活用調査研究事業に要する経費 2,999,000円  
[国・県 1,400,000円 一財 1,599,000円] (2,414,000円)

\* 特財内訳

[県委：子どもと親の相談員活用調査研究事業委託金 1,400,000円]

目的

不登校解消は、早期の段階での対応が効果的である。中学校に配置している「心の教室相談員」と同じように小学校にも「子どもと親の相談員」を配置し、子どもの悩みや親の相談に応じ、不登校解消やいじめ等の対応に取り組む。

内容

主に以下の業務を行った。

- (1) 児童及び保護者の相談、および適応指導
- (2) 家庭・地域と学校の連携支援
- (3) 幼・小・中連携、関係機関、児童福祉施設との連携支援
- (4) その他学校の教育相談活動支援

年度	配置校数	不登校児童数	いじめ件数
H19	10校	12人	44件
H18	7校	20人	59件

効果

- ・児童及び保護者の悩み相談のための面談や電話相談を継続的に行うことによって、児童の不安感の解消や保護者の支援となった。
- ・悩みの解消や緩和が、不登校の改善につながり、ひきこもりがちであった児童が登校することができ、保健室や特別教室に入ることができた。
- ・いじめ件数の減少につながった。
- ・保護者の学校への不安や不満の解消に寄与することができた。

[担当：指導課] P.358

4201 日本語指導員に要する経費 1,056,155円 (2,166,487円)  
[一財 1,056,155円]

### 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

### 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

配置指導員数 5人(中国語2人、ポルトガル語2人、スペイン語1人)

### 効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

[担当：指導課] P.358

4301 スクールライフサポーター活用調査研究事業に要する経費 840,000円

[国・県 840,000円] (1,260,000円)

\* 特財内訳

[県委:スクールライフサポーター活用調査研究事業委託金 840,000円]

### 目的

子どもにとってお兄さん・お姉さんの存在としてのスクールライフサポーターが子どもと関わり、人間関係を築き、良き相談相手となり、不登校問題を解消する。

### 内容

- (1) 不登校や不登校傾向の児童に対する家庭訪問等による支援
- (2) 休み時間を活用し、相談相手、遊び相手としての支援や集団適応の援助
- (3) 授業時間における学習支援

年度	配置校数	不登校児童数
H19	2校	2人
H18	3校	10人

### 効果

登校渋りの児童生徒が、気持ちが安らぐような会話、遊び、同伴登校などの時間をスクールライフサポーターと共有することで、不登校にならずに解決に至った例が数多く見られた。かわりを深め、親しみやすい存在であることがプラスに作用し、自然にふれあう時間をもつことができ、子ども同士のコミュニケーション能力を高める役割も果たした。

[担当：指導課] P.358

4501 学力向上推進事業に要する経費 2,545,726円(450,411円)

[一財 2,545,726円]

### 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、確かな学力を育成するため、指導体制や指導方法の確立など「授業力の向上」を目指した取組を中心に事業を進め、教職員の資質の向上を図る。

## 内容

- 6月～2月 授業研究会(国語・算数数学 14回)(小学校外国語活動 2回)  
6月～3月 ICT活用支援事業  
(授業支援 46回 研修支援 21回 各校担当者支援 49回)  
7月24日 第1回小学校外国語活動研修会  
8月22日 第2回小学校外国語活動研修会  
1月30日 授業力向上研修会(講演会)「国語科のPISA型読解力の育成について」  
2月～3月 市内小中学校児童生徒用「家庭学習の手引き」作成

## 効果

研修会や講演会、ICT活用支援事業を通して教職員の資質向上を図ってきた。特に国語科及び小学校外国語活動においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となった。また、ICT活用支援事業においても、教職員のICT活用回数が増加するなど、事業の成果向上がみられた。

## 1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.360

1001 青少年健全育成に要する経費 11,074,310円(11,261,098円)

[国・県 142,500円 一財 10,931,810円]

\* 特財内訳

[県補：青少年相談員事業補助金 142,500円]

### 目的

青少年センターを中心とした特別青少年相談員、青少年相談員の相談活動及び街頭指導等により、青少年の健全育成を図るとともに、青少年育成団体に助成を行い、青少年の非行を防止し、青少年が安心して生活できる街づくりを目指す。

### 内容

#### ・報酬

青少年相談員報酬 6,091,200円(月額 9,400円 56人)

特別青少年相談員報酬 2,712,000円(月額 113,000円 2人)

・負担金、補助及び交付金 11団体 1,623,700円

#### ○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.362

1101 青少年問題協議会に要する経費 127,850円(149,026円)

[一財 127,850円]

### 目的

青少年関係機関等の委員で構成される青少年問題協議会を開催し、関係機関の連絡調整を図るとともに、青少年の健全育成に関する総合的施策について調査・審議する。

また、善行青少年の表彰を実施し、市内の隅々に善行行為を広める。

### 内容

・青少年問題協議会委員報酬 44,100円



・善行青少年表彰記念品 57,750 円

効果

青少年問題協議会を開催することにより、関係行政機関（警察、小中高校等）相互の連絡調整を図ることができた。

また、善行青少年の表彰を行い、善行行為を広めることができた。

## 2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.364

2001 小学校管理に要する経費 201,793,750 円（233,905,200 円）

[国・県 7,755,183 円 その他 5,531,981 円 一財 188,506,586 円]

\* 特財内訳

[県補：TT 特別配置事業費補助金 7,755,183 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,500,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 31,981 円]

目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

内容

- ・TT 特別配置事業により、県からの TT 加配がついていない小学校 10 校（白山小、小文間小、戸頭西小、吉田小、高井小、山王小、六郷小、藤代小、久賀小、宮和田小）に TT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。（15,474,463 円）
- ・教育補助員を 10 校（久賀小、桜が丘小、六郷小、宮和田小、永山小、戸頭西小、取手小、白山小、戸頭東小、寺原小）に配置し、障害のある児童の教育支援を行った。（15,991,317 円）
- ・藤代小体育館改築に伴う備品の購入（6,048,342 円）

効果

- ・TT 非常勤講師の配置により個人差に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。
- ・教育補助員を配置することで、障害のある児童の教育支援ができた。
- ・藤代小体育館改築に伴い、緞帳、運動用具等の更新を行い、教育環境の充実が図れた。

[担当：教育施設課 H20 教育総務課] P.366

2101 小学校施設管理に要する経費 43,912,461 円（45,101,550 円）

[一財 43,912,461 円]

目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

内容

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
修繕料	各小学校の施設修繕料	9,265,364

	各小学校の施設修繕料（学校配当分）	5,505,133
--	-------------------	-----------

(2)委託料

(単位：円)

委託名	内容	委託料
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,346,936
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（小文間小、永山小、高井小、藤代小、山王小、六郷小、宮和田小）	2,787,750
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	3,060,750
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	275,625
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,637,600
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	618,240
高架水槽及び受水槽清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	1,375,500
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草（取手小、白山小、寺原小）	1,197,000
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,382,850
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	2,137,800
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検（戸頭東小、戸頭西小、白山小、井野小、稲小、吉田小、寺原小、永山小、白山西小、小文間小、高井小）	792,750
テレビ共同受信設備保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検（取手小）	1,596,000
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検（取手小）	831,600
自動ドア保守点検委託	自動ドアの保守点検（取手小）	220,500
太陽熱温水設備保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検（取手小）	236,250
校庭散水設備保守点検委託	校庭散水設備の保守点検（取手小、寺原小）	69,300
雨水調整槽等保守点検委託	雨水調整槽の保守点検（取手小）	325,500
遠赤外線暖房機保守点検委託	遠赤外線暖房機の保守点検（取手小）	273,000
風力発電設備保守点検委託	風力発電設備の保守点検（取手小）	189,000
地上デジタル放送受信状況調査委託	地上デジタル放送受信状況調査委託（取手小）	682,500

(3)使用料及び賃借料、原材料費

(単位：円)

項目	内容	金額
使用料及び賃借料	電柱共架料	119,280
原材料費	各小学校施設補修用材料の購入	133,271
	各小学校施設補修用材料の購入（学校配当分）	352,994

効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課] P.368

2201 小学校保健衛生に要する経費 35,085,967 円（31,721,944 円）

[その他 2,342,320 円 一財 32,743,647 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 × 5,092 人 = 2,342,320 円]

目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

- ・学校嘱託医、歯科医、薬剤師（産業医） 70人(18人)
- ・児童・教職員健康診断委託 委託先（社）取手市医師会、（財）茨城県総合健診協会

（単位：人）

区分	尿	蟯虫	貧血	心臓	胃	結核・肺ガン	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	全学年	2・4・6年職員	1年職員	40歳以上職員	職員	全学年	職員
H19	5,808	5,424	2,434	1,288	13	218	5,423	320
H18	5,920	5,511	2,452	1,425	18	229	5,514	317

効果

定期検診を実施することにより、児童に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.370

2001 小学校教育振興に要する経費 14,998,191 円（16,080,036 円）

[一財 14,998,191 円]

目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品（18校） 12,270,654 円

卒業記念品（英和辞典） 892,489 円

効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務課] P.372

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 28,084,895 円（28,439,512 円）

[一財 28,084,895 円]

目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

内容

（単位：円）

区分	児童用教材	特別支援学級教材	理科教材	図書	合計
H19	17,342,507	299,682	2,966,916	5,600,068	26,209,173
H18	17,568,725	595,581	2,997,446	5,485,868	26,647,620

## 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.372

2201 小学校コンピュータ設備に要する経費 34,958,293 円 (55,831,189 円)

[一財 34,958,293 円]

### 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

### 内容

主に小学校 18 校のパソコン使用料 (各校 21 台) に要する経費である。

#### 主な事業費内訳

- ・パソコン使用料 (旧取手地区小学校 12 校は再リース) 28,484,556 円
- ・パソコン教材備品購入費 1,575,000 円
- ・学校ポータル運用管理業務委託 3,297,000 円

### 効果

小学校 18 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務課] P.372

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 24,350,558 円 (24,566,681 円)

[国・県 518,000 円 一財 23,832,558 円]

#### \* 特財内訳

[国補：要保護児童就学奨励費補助金  $128,000 \times 1/2 = 64,000$  円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金  $908,000 \times 1/2 = 454,000$  円]

### 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

### 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

#### ・要保護及び準要保護児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
H19	21 人	346 人	367 人
H18	27 人	360 人	387 人

#### ・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H19	75 人	45 人
H18	81 人	48 人

### 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.374

2901 小学校特別活動助成に要する経費 1,991,084 円 (1,789,203 円)

[一財 1,991,084 円]

目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

内容

市音楽会・諸発表大会児童派遣費補助金	671,473 円
陸上記録会補助金	1,230,000 円
その他（賞状印刷代）	89,611 円

効果

諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツや音楽への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

## 2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育施設課 H20 教育総務課] P.376

2101 小学校施設整備に要する経費 122,879,950円 (115,890,413円)

34,030,500円 は、うち18年度繰越分

[国・県 51,275,000円 18,275,000円 地方債 34,600,000円 15,600,000円

一財 37,004,950円]

\* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

山王小学校校舎大規模改造(アスベスト)事業	2,121,000円
宮和田小学校校舎大規模改造(アスベスト)事業	2,298,000円
六郷小学校校舎大規模改造(アスベスト)事業	13,856,000円 ]

[県交：合併特例交付金 33,000,000円]

[市債：小学校石綿対策事業債

山王小学校校舎	(3,759,000 - 2,121,000) × 100%	1,600,000円
宮和田小学校校舎	(4,231,500 - 2,298,000) × 100%	1,900,000円
六郷小学校校舎	(26,040,000 - 13,856,000) × 100%	12,100,000円 ]

[市債：小学校整備事業債 25,336,500 × 75% 19,000,000円]

目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	工期	委託料
小学校耐震診断調査 業務委託	六郷小耐震診断調査(校舎)	H19.7.25 ~	3,360,000
	山王小耐震診断調査(校舎・体育館)	H20.3.14	3,139,500
	戸頭西小耐震診断調査(校舎・体育館)		10,972,500
	吉田小耐震診断調査(校舎・体育館)		7,528,500
	宮和田小耐震診断調査(校舎)		5,722,500
	戸頭東小耐震診断調査(校舎・体育館)	H19.9.11 ~	7,035,000
	寺原小耐震診断調査(003棟)	H20.3.14	1,575,000

藤代小公共下水道接続 工事実施設計業務委託	藤代小公共下水道接続工事実施設計	H19.7.10 ~ H19.9.14	504,000
小学校飲用水槽改修工 事実施設計業務委託	宮和田小受水槽改修工事実施設計	H19.6.27 ~ H19.9.14	451,500

(2) 工事請負費

(単位：円)

工 事 名	内 容	工 期	工事費
藤代小公共下水道 接続工事	公共下水道接続工事及び浄化槽撤去解 体工事	H19.10.1 ~ H20.3.14	10,384,500
吉田小給水揚水ポンプ 改修工事	給水揚水ポンプ改修 2台	H19.8.18 ~ H19.9.28	1,134,000
取手小会議室・多目的 教室内部改修工事	取手小会議室・多目的教室内部改修 児童数の増加に伴い会議室及び多目 的教室を普通教室に改修	H20.1.22 ~ H20.3.7	6,951,000
小学校キューピクル 改修工事	戸頭西小トランス改修 電灯用50KV 1台	H19.12.4 ~ H20.3.7	798,000
小学校トイレ改修工事	藤代小2階トイレ改修 男子トイレ 1台・女子トイレ 1台	H19.5.18 ~ H19.6.15	378,000
	戸頭西小1号棟2階トイレ改修工事 男子トイレ 1台・女子トイレ 1台	H19.12.8 ~ H20.1.11	630,000
小学校消防設備 改修工事	稲小2F防火シャッター安全装置設置 安全装置 3台	H19.11.23 ~ H19.12.26	630,000
	小学校消防設備改修（桜が丘小、山王 小、六郷小） 誘導灯 1台、ホース 2本、消火器 2 台	H20.1.31 ~ H20.2.29	162,750
小学校飲用水改修工事	宮和田小受水槽改修 既存受水槽(FRP)撤去及び新設工事 (SUS 3.0×4.5×H2.5)	H19.10.16 ~ H20.2.15	9,460,500
小学校プールろ過機 改修工事	桜が丘小プールろ過機改修工事	H19.4.19 ~ H19.6.20	3,402,000
小学校石綿除去工事	山王小校舎階段裏石綿除去 普通教室棟 73m <sup>2</sup>	H19.6.9 ~ H19.9.28	3,759,000
	宮和田小校舎階段裏石綿除去 普通教室棟 78m <sup>2</sup>		4,231,500
六郷小校舎外壁石綿 封じ込め工事	六郷小校舎外壁石綿封じ込め 校舎外壁 2,037m <sup>2</sup>	H19.6.9 ~ H19.9.28	26,040,000
施設管理営繕工事	各小学校の営繕工事		14,169,982

効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育施設課 H20 公共施設整備課] P.376

2201 小学校建設事業に要する経費 355,602,860円(29,661,640円)

346,163,360円 は、うち18年度繰越分

[国・県 74,076,000円 65,076,000円 地方債 281,000,000円 281,000,000円

一財 526,860円]

\* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

藤代小学校体育館危険改築事業 195,228,000 × 1/3 = 65,076,000 円 ]

[県交：合併特例交付金 9,000,000 円]

[市債：藤代小学校体育館改築事業債

(346,163,360 - 65,076,000) × 100% 281,000,000 円 ]

目的

寺原小学校校舎大規模改造工事实施設計(耐震補強含む)及び藤代小学校体育館改築工事を行い、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位：円)

委託名	内 容	工 期	委託料
寺原小大規模改造工事に伴うテレビ電波障害事前調査業務委託	エレベーター棟の増築に伴うテレビ電波障害事前調査業務	H20.3.1 ~ H20.3.25	157,500
寺原小大規模改造工事实施設計業務委託	大規模改造工事(耐震補強含む)の実施設計業務	H19.7.10 ~ H20.3.31	9,282,000
藤代小体育館改築工事監理業務委託	体育館改築工事の工事監理業務	H19.6.21 ~ H20.3.28	8,715,000

(2) 工事請負費

(単位：円)

工 事 名	内 容	工 期	工事費
藤代小電波障害対策工事	体育館改築工事に起因するテレビ電波障害対策工事(対策工事25軒)	H19.10.13 ~ H20.1.31	4,713,450
藤代小体育館解体工事	旧体育館の解体工事	H19.4.20 ~ H19.7.10	28,245,000
藤代小体育館改築工事	鉄骨造2階建て 延床面積1,125 m <sup>2</sup>	H19.6.15 ~ H20.3.21	304,489,910

効果

寺原小校舎大規模改造工事实施設計(耐震補強含む)により安全・安心な学校づくりのための準備が整った。また、藤代小体育館を改築し耐震性能が確保され、児童等が快適な学校生活を送れる教育環境の整備が図られた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.378

2001 給食運営に要する経費 303,511,216 円 (308,999,627 円)

[その他 195,701,325 円 一財 107,809,891 円]

\* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代(自校分) 195,701,325 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

(1) 臨時調理師賃金 6,250,675 円(5人)

(2) 委託料

(単位：円)

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機 保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検(14校)	1,402,170
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(12校)	2,097,900
給食排水槽清掃委託	給食室用排水槽の清掃(12校)	1,837,500
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除(12校)	385,000
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(7校：取手小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭東小、戸頭西小)	79,491,258

効果

栄養バランスのとれた内容豊かな給食の提供及び、給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：保健給食課] P.380

2101 給食施設整備に要する経費 4,708,605 円 (4,865,599 円)

[一財 4,708,605 円]

目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

内容

備品整備

・フライヤー油槽(白山小) 123,900 円

施設整備

・給食室手洗器修繕(吉田小) 472,500 円

・給食室小荷物専用昇降機修繕(六郷小) 997,500 円

効果

給食室内の施設整備及び環境衛生面での充実が図れた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.382

2001 中学校管理に要する経費 88,015,611 円 (88,179,922 円)

[その他 5,000,000 円 一財 83,015,611 円]

\* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,000,000 円]

目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

内容

・取手二中体育館改築に伴う備品の購入(6,157,725 円)

・教育補助員を2校(取手東中、取手二中)に配置し、障害のある生徒の教育支援



を行った。(1,713,250円)

効果

- ・ 取手二中体育館改築に伴い、暗幕、運動用具等の更新を行い、教育環境の充実が図れた。
- ・ 教育補助員を配置することで、障害のある生徒の教育支援ができた。

[担当：教育施設課 H20 教育総務課] P.384

2101 中学校施設管理に要する経費 20,511,896円(21,387,083円)

[一財 20,511,896円]

目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

内容

(1) 需用費 (単位：円)

項目	内容	金額
修繕料	各中学校の施設修繕料	6,062,862
	各中学校の施設修繕料(学校配当分)	2,755,149

(2) 委託料 (単位：円)

委託名	内容	金額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,438,100
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(永山中、野々井中、藤代中、藤代南中)	1,375,500
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,359,750
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	228,375
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,123,500
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	285,810
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	614,250
給水管漏水調査委託	漏水調査(藤代中)	156,450
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	593,250
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	730,800
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検(取手一中、取手二中、戸頭中、取手東中、永山中、野々井中)	346,500
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検(取手二中、藤代中)	863,730

(3) 原材料費 (単位：円)

項目	内容	金額
原材料費	各中学校施設補修用材料の購入	134,190
	各中学校施設補修用材料の購入(学校配当分)	153,534

効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課] P.386

2201 中学校保健衛生に要する経費 17,390,193円(16,921,287円)

[その他 1,077,780円 一財 16,312,413円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×2,343人=1,077,780円]

目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

- ・学校嘱託医・歯科医・薬剤師（産業医） 34人(8人)
- ・生徒・教職員健康診断委託

委託先：(社)取手市医師会、(財)茨城県総合健診協会

(単位：人)

区分	尿	蟻虫	貧血	心臓	胃	結核	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	全学年	2年職員	1年職員	40歳以上職員	職員	全学年	職員
H19	2,771	2,480	880	1,204	7	125	2,550	183
H18	2,932	2,627	906	1,250	4	137	2,684	179

効果

定期検診を実施することにより、生徒に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.388

2001 中学校教育振興に要する経費 9,459,022 円 (10,313,306 円)

[一財 9,459,022 円]

目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(8校) 7,923,406 円

卒業記念品(国語辞典) 1,160,586 円

効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務課] P.388

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 18,665,584 円 (18,515,005 円)

[一財 18,665,584 円]

目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	選択教科	理科教材	図書	特別支援学級教材	その他	合計
H19	8,921,798	220,210	1,954,118	4,694,217	299,975	0	16,090,318
H18	8,944,420	227,648	2,082,025	4,761,585	0	46,608	16,062,286

## 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.388

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 28,402,357 円 (31,423,309 円)

[一財 28,402,357 円]

## 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

## 内容

### 主な経費

パソコン使用料 27,425,160 円

## 効果

中学校 8 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務課] P.390

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 23,706,340 円 (23,927,654 円)

[国・県 385,000 円 一財 23,321,340 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金  $166,000 \times 1/2 = 83,000$  円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金  $604,000 \times 1/2 = 302,000$  円]

## 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

## 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
H19	11 人	220 人	231 人
H18	9 人	225 人	234 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H19	27 人	15 人
H18	45 人	27 人

## 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.390

2901 中学校特別活動助成に要する経費 11,873,901 円 ( 11,396,479 円 )

[一財 11,873,901 円]

目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動意欲を高める。

内容

音楽コンクール・市音楽会・諸発表大会生徒派遣費補助金	2,893,952 円
体育大会等派遣補助金	8,749,486 円
その他（自動車借上料、賞状印刷代）	230,463 円

効果

諸発表・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図れた。

[担当：指導課] P.390

3001 中学校スポーツエキスパート活用事業に要する経費 660,000 円

[国・県 220,000 円 一財 440,000 円] ( 1,072,500 円 )

\* 特財内訳

[県補：スポーツエキスパート活用事業費補助金 220,000 円]

目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体を持った生徒を育成する。

内容

運動部活動における外部指導者の活用

- ・ 1 運動部につき、年間 27 回の活用
- ・ 1 回の指導時間は 2 時間程度
- ・ 年間を通じて継続的に実施

学 校 名	部活動名（外部指導員人数）
取手一中	テニス(1人)
取手二中	テニス(2人)、剣道(2人)、卓球(1人)
永山中	バスケット(1人)
野々井中	野球(1人)

効果

4 校 8 人の外部指導者を活用したことにより、運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

### 3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育施設課 H20 教育総務課] P.390

2001 中学校施設整備に要する経費 58,541,941 円 ( 65,429,366 円 )

12,757,500 円 は、うち18年度繰越分

[国・県 14,941,000 円 6,941,000 円 地方債 14,700,000 円 5,700,000 円

一財 28,900,941 円]

\* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

取手第一中学校校舎大規模改造(アスベスト)事業	2,421,000円
藤代南中学校校舎大規模改造(アスベスト)事業	3,471,000円
藤代南中学校体育館大規模改造(アスベスト)事業	1,049,000円 ]

[県交：合併特例交付金 8,000,000円]

[市債：中学校石綿対策事業債

取手第一中学校校舎	(4,357,500 - 2,421,000) × 100%	1,900,000円
藤代南中学校校舎	(6,450,000 - 3,471,000) × 100%	2,900,000円
藤代南中学校体育館	(1,950,000 - 1,049,000) × 100%	900,000円 ]

[市債：中学校整備事業債 12,022,500 × 75% 9,000,000円]

目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位：円)

委託名	内 容	工 期	委託料
中学校耐震診断調査 業務委託	取手東中耐震診断調査(校舎・体育館・武道場)	H19.7.25 ~ H20.3.14	13,387,500
中学校飲用水槽改修工事 実施設計業務委託	取手東中受水槽改修工事实施設計	H19.6.27 ~ H19.9.14	420,000

(2) 工事請負費

(単位：円)

工 事 名	内 容	工 期	工事費
中学校飲用水槽改修工事	取手東中受水槽改修 既存受水槽(FRP)撤去及び新設工事(SUS 2.5×4.0×H2.5)	H19.10.13 ~ H20.2.15	8,190,000
藤代中テニスコート 改修工事	藤代中テニスコート改修 テニスコート4面 2,624m <sup>2</sup>	H19.10.13 ~ H19.12.14	3,412,500
中学校消防設備改修工事	中学校消防設備(取手一中、野々井中、戸頭中) 発信機 3台、感知器 1個、ホース 6本、消火栓表示板 2枚、バッテリー 2個、自動開閉装置 1箇所 消火栓用使用説明板 3枚	H20.1.31 ~ H20.2.29	283,500
	藤代南中消防設備改修 電源バッテリー 2個、誘導灯 2台	H20.1.31 ~ H20.2.29	147,000
	取手東中消火栓配管バルブ等改修	H20.2.15 ~ H20.3.14	191,100
	永山中消防設備改修 誘導灯 3台、感知器 1台	H20.3.7 ~ H20.3.28	163,800
中学校石綿除去工事	藤代南中校舎階段裏・体育館器具庫 天井石綿除去 校舎・体育館器具庫天井 181m <sup>2</sup>	H19.6.9 ~ H19.9.28	8,400,000
	取手一中校舎階段裏石綿除去 管理・教室棟 97m <sup>2</sup>		4,357,500
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事		7,995,888

(3) 公有財産購入費

永山中用地代

永山中観察の森の用地 3筆 368㎡ 7,360,000円

(4) 負担金

取手二中公共下水道負担金

公共下水道への接続のための負担金 3,907,700円

(5) 補償費

永山中用地補償費

通常損出補償費 20,000円/日×2日分 40,000円

効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育施設課 H20 公共施設整備課] P.392

2101 中学校建設事業に要する経費 343,339,500円 (1,045,342,716円)

343,339,500円 は、うち18年度繰越分

[国・県 89,782,000円 89,782,000円 地方債 251,700,000円 251,700,000円

一財 1,857,500円]

\* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

取手第二中学校体育館不適格改築事業 244,800,000×1/3=81,600,000円 ]

[国負：公立学校施設整備費負担金

取手第二中学校体育館新增築事業 16,365,000×1/2 8,182,000円 ]

[市債：取手第二中学校体育館改築事業債

(341,659,500 - 89,782,000)×100% 251,700,000円 ]

目的

取手二中体育館改築工事を行い、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	工期	委託料
建物事前調査業務委託 (取手二中)	体育館改築工事に伴い、近隣 建物の事前調査業務 (調査8棟)	H19.4.19 ~ H19.6.20	1,680,000
取手二中体育館改築工事 監理業務委託	体育館改築工事の工事監理 業務	H19.6.21 ~ H20.3.28	8,085,000

(2) 工事請負費

(単位：円)

工事名	内容	工期	工事費
取手二中体育館解体工事	旧体育館の解体工事	H19.4.19 ~ H19.7.27	18,994,500
取手二中体育館改築工事	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 造2階建て 延床面積1,396㎡	H19.6.15 ~ H20.3.21	314,580,000

## 効果

取手二中体育館を改築し耐震性能が確保され、生徒等が安全で快適な学校生活が送れる教育環境の整備が図られた。

### 3 中学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.394

2001 給食運営に要する経費 156,400,918 円 (160,127,612 円)

[その他 98,462,110 円 一財 57,938,808 円]

\* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代（自校分） 98,462,110 円]

#### 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

#### 内容

- (1) 臨時調理師賃金 3,010,875 円 (2 人)
- (2) 委託料

(単位：円)

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機 保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検 (8 校)	903,210
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (6 校)	1,044,750
給食排水槽清掃委託	給食室用排水槽の清掃 (6 校)	912,450
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除 (6 校)	192,500
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(4 校：取手一中、取手二中、戸頭中、永山中)	42,815,850

## 効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：保健給食課] P.396

2101 給食施設整備に要する経費 1,638,019 円 (6,020,406 円)

[一財 1,638,019 円]

#### 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

#### 内容

##### 備品整備

- ・フライヤー油槽 (野々井中) 173,827 円
- ・L 型運搬車 (取手一中) 92,400 円

##### 施設整備

- ・給食室小荷物専用昇降機修繕 (取手二中) 337,050 円

## 効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

### 4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務課] P.398

2001 幼稚園管理に要する経費 4,409,792 円 (3,043,702 円)

[その他 3,346,758 円 一財 1,063,034 円]

\* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 128,000 円]

[使用料：市立幼稚園保育料 3,212,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 6,758 円]

#### 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

#### 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

保育料(月) 5,500 円 入園料 4,000 円

年度	4 歳児	5 歳児	合計
H19	28 人	21 人	49 人
H18	21 人	24 人	45 人

## 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：保健給食課] P.400

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 640,984 円 (660,483 円)

[その他 6,615 円 一財 634,369 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135 × 49 人 = 6,615 円]

#### 目的

学校保健法に基づき、園児及び教職員の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

#### 内容

- ・ 幼稚園嘱託医・歯科医・薬剤師 3 人
- ・ 園児・教職員健康診断委託

委託先：(社)取手市医師会

(単位：人)

区分	尿	蛭虫	貧血	心臓	生化学検査
対象	全園児職員	全園児	職員	職員	職員
H19	51	49	0	0	0
H18	50	45	6	5	6

## 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。



4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務課] P.400

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 83,607,903 円 (78,383,549 円)

[国・県 22,150,000 円 一財 61,457,903 円]

\* 特財内訳

[国補:幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費 83,607,903 × 1/3 以内 22,150,000 円]

目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

内容

(単位：人)

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
市民税非課税世帯	1	25	37	33	96
市民税所得非課税世帯		10	15	13	38
所得割課税 34,500 円以下	5	34	38	41	118
所得割課税 183,000 円以下	17	246	296	269	828
合 計	23	315	386	356	1,080

効果

園児の保護者に対し、補助金を交付することにより幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.400

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 43,016,600 円 (42,790,000 円)

[一財 43,016,600 円]

目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額 2,500 円	22 人	445 人	513 人	502 人	1,482 人

補助額 42,942,500 円

効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 3,300,000 円 (3,300,000 円)

[一財 3,300,000 円]

目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

1園につき 300,000円×11園

効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 1,760,000円(1,320,000円)

[一財 1,760,000円]

目的

障害児保育の振興を図る。

内容

障害児を在園させている幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

障害児1人につき 年額 110,000円×16人分

効果

幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 404,603円(360,984円)

[一財 404,603円]

目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。実施園7園 @730円×1,108.5h×1/2 404,603円

効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課] P.402

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 179,820円(179,820円)

[一財 179,820円]

目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の1/2の額を補助する。

私立幼稚園 @135×1,332人=179,820円

効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与するこ

とができた。

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.406

2001 成人式に要する経費 2,098,099 円 (2,594,000 円)

[一財 2,098,099 円]

目的

成人に達した若者の新たな門出を祝す。

内容

平成 19 年度成人に達する市内公立各中学校の卒業生から実行委員候補者を中学校に推薦依頼、成人式の企画運営を行うために実行委員会を結成し、事業を委託した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H19 (H20.1.13 実施)	男	619	449	72.5
	女	557	416	74.7
	計	1,176	865	73.6
H18 (H19.1.7 実施)	男	648	465	71.7
	女	612	465	75.9
	計	1,260	930	73.8

効果

成人式実行委員会では、議論を交わし、式典の綿密な計画を練ることができた。また、記念品の選定、記念冊子の編集作業や、成人式当日のアトラクションを決定した。成人式の在り方を含め関係者の意見を参考にし、より良い式典が円滑に行われるよう工夫することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.406

2101 生涯学習フェスティバルに要する経費 37,780 円 (518,513 円)

[一財 37,780 円]

目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

内容

藤代スポーツセンターを会場に「とりで生涯学習フェスティバル」をネットワークフェア 2007 と同時開催で実施した。

<とりで生涯学習フェスティバル>

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスづくり	約 100 人
歌声喫茶“灯”	なつかしい曲をギター伴奏にあわせ、スタッフと来場者が一緒に歌を歌うことをたのしむ	約 200 人
昔あそびコーナー	昔の遊び(お手玉・おはじき・びーだま・ベーゴマ・あやとりなど)体験	約 200 人

グラウンドゴルフ	年齢性別を問わず、いつでも、どこでも、誰でも出来るグラウンドゴルフの体験	約 150 人
ふじしる野鳥と楽しむ会	バードウォッチング体験、写真・イラスト展示、野鳥のぬりえなどを体験	約 200 人

#### 効果

とりで生涯学習フェスティバルでは、学習活動を実践している団体やサークルなどによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代において交流と学びの場を提供することにより、市民の生涯学習の啓発を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.406

2201 生涯学習推進に要する経費 2,904,169 円 (2,856,982 円)

[一財 2,904,169 円]

#### 目的

市民一人ひとりが充実した生活を送れるよう、市民のニーズを幅広く反映させるとともに、各分野にわたる学習機会と情報を提供し、市民がいつでも・どこでも・楽しく学習できるような環境整備を図る。

#### 内容

##### (1)生涯学習情報紙の発行

生涯学習関連情報の提供に資するため、生涯学習情報紙「とりで学遊プラザニュース」を年 1 回発行。(10 月 14 日発行、46,000 部)

##### (2)出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」内容を、人材登録されているリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H19		H18	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編(登録指導者)	22	654 人	30	1,532 人
行政編(職員等派遣)	69	2,560 人	79	2,405 人

##### (3)とりで学遊プラザリーダーバンク

生涯学習に関する各種人材(指導者)の登録派遣制度。

	H19	H18
リーダーバンク登録者	410 人	395 人

##### (4)農業ふれあい体験事業

委託料 220,000 円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

##### 親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/12(田植え) 9/ 9(稲刈り)	農業 ふれあい 公園	親子 268 人 (うち台東区民 37 人)

##### (5)家庭教育学級

市立幼・小中学校在籍の親を対象に家庭教育について、社会教育指導員の指導により学習会を実施した。 29 学級 参加延べ人数 1,131 人

## 効果

学校完全週 5 日制に対応した取り組みとして、親子で自然体験の活動機会と場を提供し学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座においては、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級は「子育てと仲間づくり」をテーマに、子供達が心豊かにたくましく成長することを願って、読書、食育、子育て講話、研修視察等バラエティーに富んだ学習会を実施できた。

[担当：文化芸術課] P.408

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,497,804 円 (4,099,022 円)

[一財 3,497,804 円]

## 目的

市民芸術活動、文化活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

## 内容

### (1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内 容	入場者数
第 36 回 文化祭 (取手地区)	10/28,11/3,4 (3日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託し、市民が日頃行っている文化的活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会 場：取手市民会館 委託料：1,040,000 円	5,840 人
平成 19 年度 取手市藤代 文化祭	10/13~12/2	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託し、様々なイベントを開催して地域の文化芸術の推進に寄与した。 会 場：藤代公民館 委託料：530,000 円	1,397 人
2008 取手美術 作家展	6/8~6/28 (21日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。30名 55点を出品。 オープニングイベント フルーツコンサート、ギャラリートーク他 市内小中学校ギャラリーツアーを3日間実施。 会 場：とりでアートギャラリー 委託料：640,000 円	2,124 人
夢 の コンサート	2/23	児童を対象にした聴衆参加型のクラシックコンサートを開催した。 会 場：取手市民会館 夢のコンサート実行委員会負担金：50,000 円	350 人
第 38 回 取手市 美術展	11/9~12/17 (33日間)	第1部 洋画、彫刻、デザイン 73点 第2部 日本画、写真、書、工芸 90点 第3部 小中学生、特殊学級 1,183点 会 場：とりでアートギャラリー 報償費・需用費：389,444 円	4,450 人

(2) 文化振興奨励金交付

事業名	金額	開催日	人数
取手市中学生バンドフェスティバル	65,000 円	6/23	500 人

(3) 市内の文化団体への助成

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	360,000 円	文化連盟運営の助成
少年少女合唱団補助金	80,000 円	少年少女合唱団運営の助成
取手市藤代文化協会補助金	270,000 円	文化協会事業の助成

効果

文化事業は、毎年恒例で大盛況であるが、平成 19 年度は入場者数が伸び悩んだ。イベントの趣向を凝らし市民の文化芸術に関する意識の向上及び活性化を図る。

[担当：文化芸術課] P.408

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 86,730,950 円 (92,134,450 円)

[その他 871,000 円 一財 85,859,950 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 871,000 円]

目的

市民会館・福祉会館を設置し、市の産業、経済、文化、教養の向上と市民の福祉増進を図る。

内容

耐用年数の経過により老朽化している施設を年次計画に基づき改修を行った。また、市民会館及び福祉会館の管理運営を委託した。

・需用費（修繕料） 1,825,950 円

修繕名	概要	履行期間	金額
取手市立福祉会館 外壁修繕	福祉会館外壁の腐食錆落とし、 モルタル部プライマー塗布	7/24～7/31	241,500 円
取手市立市民会館 消火栓設備修繕	消火栓始動装置並びに非常電 源設備修繕	12/8～12/25	357,000 円
取手市立市民会館 トイレ修繕	和式トイレから洋式トイレへ の更新	12/8～2/29	871,500 円
取手市立市民会館 大ホール客席修繕	客席背もたれラバーの交換 並びに客席固定ビス止め交換	3/25～3/30	355,950 円

・委託料（市民会館・福祉会館指定管理料） 84,590,000 円

平成 18 年度から市民会館・福祉会館に指定管理者制度を導入した。

指定管理者：取手市文化事業団

・使用料及び賃借料（照明機器リース料） 315,000 円

舞台用ピンスポットライトを 5 年間リース。

効果

施設の適切な管理運営を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.408

3001 東京藝術大学との交流に要する経費 5,066,551 円 (4,975,226 円)

[一財 5,066,551 円]

#### 目的

取手市に東京藝術大学取手キャンパスがあるという地域性を活かし、市民と藝大との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、芸術文化の振興を推進する。

#### 内容

##### (1) 市内小中学校と藝大との文化交流

指導者謝礼：3,080,000 円 (東京藝術大学指導者)

市内小中学校 (26 校) と藝大との文化交流を実施し、小中学校の希望により美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：15 校 市内全 18 校中希望をした全校 (絵画等主に描写の指導)
- ・音楽：8 校 市内全中学校 (吹奏楽部の演奏指導)

##### (2) 第 11 回炎の祭りの開催

委託料：560,000 円 (炎の祭り実行委員会)

取手キャンパスの登り窯を利用し、参加者 37 人が藝大陶芸科の指導のもと粘土制作、絵付け、登り窯での本焼きと一連の作業を行った。あわせて島田文雄教授による講演会を実施。1 人 3,4 点を制作した。実施にあたっては、実行委員会を組織し、藝大、取手市及び実行委員会の三者共催とし取手市から実行委員会に対して委託した。

- ・日程：10/31 講演会、11/3 粘土制作、11/17 絵付け、11/21 焼成体験、11/27 窯出し
- ・場所：東京藝術大学取手キャンパス

##### (3) 東京藝術大学卒業制作展市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (受賞者 2 名)

第 56 回東京藝術大学卒業制作展において優秀作品 2 点 (日本画、工芸) に市長賞を授与した。受賞作品は福祉会館ロビーと市民会館ロビーに展示した。

- ・日本画：秋山洋平作「途」
- ・工芸 (陶芸)：親正 (おおぎ) 里紗作「木々礼賛」

##### (4) 東京藝術大学音楽学部ミニコンサート

出演者謝礼：160,000 円

(金管出演者 5 名、ピアノ・声楽・バイオリン出演者 5 名)

開催日	会場	内容	入場者数
9/22 (土)	福祉交流センター	金管五重奏	90 人
12/1 (土)	井野公民館	ピアノ・声楽・バイオリン	110 人

#### 効果

小中学校との文化交流事業については、希望校全校に藝大生を派遣した。また、授業内容についても新鮮で斬新であると好評を得ることができた。

炎の祭りとミニコンサートについては、恒例の事業として認知されつつあり、好評を得ている。質の高い芸術にふれる場を市民に提供することにより、芸術文化の推進に寄与することができた。

[担当：文化芸術課] P.410

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 8,037,329円(7,962,535円)

[その他 1,468,248円 一財 6,569,081円]

\* 特財内訳

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 1,468,248円]

#### 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行うとともに、東京藝大キャンパスが取手市内にあるという地理的環境を活かし、他市町村にはない、藝大のノウハウを駆使した、文化によるまちづくりの推進を図る。

#### (1) 壁画によるまちづくり

##### 内容

委託料：1,700,000円(壁画によるまちづくり実行委員会)

平成12年度より、落書きや貼り紙の防止を主な目的として、地元小学生や、取手アートプロジェクト参加者、藝大学生などにより壁画制作を行ってきた。市民には大変好評であり、壁画が環境改善や防犯に大きな役割を果たしている。取手市はアートのあるまちづくりを目指していることもあり、平成17年度に藝大、市民、行政による壁画によるまちづくり実行委員会を立ち上げ、基本計画及び実施計画を策定し、毎年一作品を制作することとした。平成19年度は、国道6号バイパス藤代大橋下壁面に、いつまでも野鳥が集まる美しい自然があり続けて欲しいというコンセプトのもと、8作品となる「永遠に(とわに)」という作品を制作した。

概要	期間
原画作品6点展示、一般投票	6/27～7/8
ボランティア説明会	7/28
シーラー塗装	8/8
下塗り・下描き	8/3
本描き	8/6～9/10
仕上げ	9/11～9/16
完成式	9/17

参加延べ人数：約270人

#### 効果

壁画を制作することによって、落書き、不法ビラ等の犯罪をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、美術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。また、市民の芸術活動を支援し、文化レベルの向上を図りながら、人的交流を促し健全な生活環境を整えるとともに、若い芸術家の育成に寄与した。

#### (2) 取手アートプロジェクト2007

##### 内容

補助金：4,000,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

9年目となる取手アートプロジェクト(TAP)は、市内在住作家が自宅アトリエを公開し、作品や企画を通じて人々と交流を行うというオープンスタジオを開催した。作家のアトリエを中心に、アートを仕掛けたスポットを巡るツアーなども企画し、市内の文化因子の見直しを図った。平行して、中村政人氏(アーティスト/東京藝術大学准教授)を迎え、中村氏が継続的に展開している「M1プロジェクト」(住宅メーカーの協



力によるアートプロジェクト)を取手駅西口前の中心市街地整備地区を中心に展開した。仮設的かつニュートラルな構造を持つM1ユニットの特徴を活かし、開発途中のまちとアートを結びつける活動を行った。また、TAPの企画運営に携わる新規メンバーを募集しアートによるまちづくりの担い手を育成した。さらに市内小学一年生全員(約800人)を対象とした児童画展の開催や、各小学校へアーティストを派遣する企画など、芸術による環境整備も行った。

また、これまでの活動が評価され、平成18年度に受賞した地域づくり国土交通大臣賞に引き続き、サントリー地域文化賞を受賞した。

概要	期間
オープンスタジオ	11/9～11/25 の金土日祝日
とんぼ玉をつくってみよう	11/9(金)
はらっぱ2007(韓国の地域系アートプロジェクト事情) 漆+現代美術 in 小文間工房 エッグアート	11/10(土)
はらっぱ2007(劇団ピクニック)(しでかすさんといっしょ!!) とんぼ玉をつくってみよう ファミリーコンサート エッグアート	11/11(日)
はらっぱ2007(隣の芝生会議) とんぼ玉をつくってみよう 七宝焼を体験しよう	11/16(金)
はらっぱ2007(はらっぱ会議 vol.2) 音の庭」カフェコンサート 手作り紙粘土でオブジェをつくろう 宮島達夫・柴田克哉トークショー エッグアート	11/17(土)
はらっぱ2007(影絵のパフォーマンス) 音のさんぽみちコンサート 字手紙に挑戦～文字の姿 とんぼ玉をつくってみよう 七宝焼を体験しよう エッグアート	11/18(日)
はらっぱ2007(アーティストトーク平田五郎～アラスカから取手まで) とんぼ玉をつくってみよう ソロコンサート	11/23(金祝)
集落式シンポジウム エッグアート	11/24(土)
はらっぱ2007(クロージングパーティー) インド古典舞踊オリウシ体験レッスン とんぼ玉をつくってみよう ぶんぶんごまをつくろう ソロコンサート エッグアート	11/25(日)
児童作品展 - 800人のいちねんせい「のぞいてひろげてわたしのはこ」	11/9～11/25

参加者総数：延べ約 12,600人

マスコミ掲載：新聞・雑誌・テレビ 計60件

#### 効果

プロジェクトを展開する規模が地理的・予算面において拡大し、また、オープンスタジオへの参加作家数も増えたことにより、過去最大の集客数を数えた。観客からは、アトリエで出迎えてくれた作家のホスピタリティーが嬉しかった、という意見もあり、好評を得ることができた。

オープンスタジオは、平成20年度に茨城県で開催する国民文化祭の現代アートのプレ大会でもあり、国民文化祭への良いステップとなった。

#### (3) 井野アーティストヴィレッジ

##### 内容

井野団地ショッピングセンターはその多くが長らく空き店舗となっており、地元自

治会からも対応を望む声が上がっていた。一方、東京藝術大学も当該ショッピングセンターを若手芸術家の創造の場として確保したい意向があったため、協議を重ねた結果、空き店舗を若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸借提供することにより、地域の活性化を図ることを目的として平成 19 年 12 月より事業を開始した。

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗全 7 戸を市が都市再生機構より借り受け</li> <li>・ うち 1 戸は藝大が管理のため無償貸与</li> <li>・ 残 6 戸は若手芸術家に「共同アトリエ」として賃貸</li> <li>・ 1 戸につき 2 名以上、利用期間 2 年</li> <li>・ 地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件</li> <li>・ 平成 20 年度に開催される国民文化祭期間中にアトリエを公開予定</li> </ul>	
スタジオ 101	藝大による活動拠点、制作他運営管理
スタジオ 102	ドキュメンタリー映像、ステンドグラス手法を用いた立体作品、韓紙を用いた絵画作品、植物をモチーフしたオブジェ
スタジオ 103	自分自身をモデルとした等身大の立体作品、ドライフラワーを加工したインスタレーション
スタジオ 104	平面（絵画）表現を志向、写真を用いた表現からインスタレーションまで行う作家
スタジオ 105	絵画
スタジオ 106	映像を用いたメディアインスタレーション、樹脂や羽毛などを用いた立体作品
スタジオ 107	壁画作家（モザイク・フレスコ）

#### 効果

現在 31 名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行っており、地域の活性化が図れ、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。また、国民文化祭の現代アート全国公募展が井野団地で行われることになっており、会場としての準備も整えることができた。

[担当：文化芸術課] P.410

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 8,465,796 円（7,861,552 円）

[その他 198,000 円 一財 8,267,796 円]

\* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 198,000 円]

#### 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには芸術文化交流の場として幅広い活動を展開する。

#### 内容

##### (1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
鈴木草牛挿絵展	4/1～4/23	鈴木草牛が、牛久沼にまつわる伝説の絵本のために描いた挿絵を展示	343 人
田中路人回顧展	4/28～5/16	郷土作家田中路人の回顧展を遺族の協力を得て開催	771 人

写真展 「思い出の水郷」	7/13～8/2	昭和40年代を中心とした、水郷地帯の稲作風景や人々の情景を捉えた鴻野伸夫氏撮影の写真を展示	521人
アート・レシピー - アートの作りかた展	8/12～9/3	様々なジャンルの作品を展示するとともに、制作過程を解説する展覧会	617人
取手市長賞授賞 作品展	10/6～10/31	平成4年度から、東京藝術大学の卒業・修了作品の中から2作品に授賞している取手市長賞の展覧会	1,019人
県展入選・市展入賞 作品展	12/20～1/8	県芸術祭に入選及び市展に入賞された市民の作品展	619人
グラフィカ写真展	1/10～1/22	郷土茨城をテーマに追求してきた写真家集団グラフィカの写真展	293人
小中学校児童生徒 作品展	1/20～2/6	市内小中学生による絵画、書写、理科、統計(県展入選作品も含む)の優秀作品展	2,075人
「幕末・維新の名士」 書幅・書額展	3/15～3/31	幕末から明治維新の時期に活躍した、吉田松陰、西郷隆盛等の名士が書いた書幅・書額等を橋本秀孝氏より借用して展示	494人

## (2) アートギャラリー貸出実績

期 間	展 示 名
6/30	TRAP! TRAP! TRAP! (有料)
7/5～7/11	寺田秀子作品展「微風」(有料)
9/8～9/12	「下水道の日」普及促進展 07
9/16	取手アートプロジェクト シンポジウム(有料)
2/21～2/27	第16回 絵を描く仲間たち展(有料)
3/8～3/11	聖和会書道展(有料)

### 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、芸術・文化の振興に寄与できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.412

3801 放課後児童対策事業に要する経費 150,499,927円(72,624,951円)

[国・県 49,981,000円 地方債 47,700,000円 一財 52,818,927円]

\* 特財内訳

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子ども教室推進事業補助金 @27,131,720×2/3 18,087,000円

放課後児童健全育成事業補助金 @35,342,000×2/3 23,561,000円]

[県補：児童厚生施設等整備費補助金 @12,500,000×2/3 8,333,000円]

[市債：合併特例債 (58,631,590 - 8,333,000)×95% 47,700,000円]

## (1) 子どもの居場所づくり事業

### 目的

設置校のすべての児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

## 内容

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学1年生から小学6年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、児童の健全育成を図る児童クラブと一体化した形で、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施。

平成19年4月は11校での実施であったが、余裕教室の確保や備品等の整備を進め、平成20年3月には16校に拡大した。(平成20年度には全18校で実施)

子どもの居場所づくり入所児童数 平成20年3月1日現在(単位:人)

小学校名	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
白山小	22	21	12	14	0	0	69
小文間小	12	5	4	5	3	1	30
寺原小	31	25	23	12	13	11	115
永山小	21	15	5	0	1	0	42
井野小	16	22	11	2	1	0	52
白山西小	11	6	7	7	1	0	32
戸頭西小	25	26	18	13	9	7	98
吉田小	24	19	12	1	1	0	57
戸頭東小	30	20	27	10	11	8	106
稲小	18	15	19	8	4	9	73
高井小	6	13	1	12	3	1	36
山王小	13	19	13	14	1	8	68
六郷小	18	20	11	9	5	1	64
宮和田小	28	19	12	9	5	5	78
久賀小	19	9	10	3	2	2	45
桜が丘小	25	31	9	9	3	3	80
合計	319	285	194	128	63	56	1,045

## 効果

児童の健全育成のために貢献する事ができた。また、対象学年を拡大した事で異学年の交流を図ることができた。

### (2) 児童クラブ事業

#### 目的

保護者の就労等の理由により留守家庭となる小学1年生から3年生までの児童を対象に、学校施設等を活用し児童の健全育成を図る。

#### 内容

放課後や夏休み等の長期休業中に留守家庭となる児童に適切な生活の場を与え、遊びを主とした活動をとおして児童の健全育成を図った。当初7校で開始したが、環境が整った5校は順次、児童クラブから居場所づくりへと移行した。余裕教室の確保が出来なかった取手小と藤代小の2校は、平成19年度新たにクラブ室を建設し、移行の準備を進めた。(平成20年度には全18校で子どもの居場所づくり事業を実施)

児童クラブ入所児童数 平成20年3月1日現在(単位:人)

小学校名	1学年	2学年	3学年	合計
取手小	13	17	16	46
藤代小	15	15	7	37
合計	28	32	23	83

## 効果

保護者の雇用継続（自宅外勤務）及び児童の健全育成に寄与した。

### (3) サマーサポート事業

#### 目的

児童クラブに在籍していない小学1年生から6年生までの留守家庭児童を対象として、夏季休業中に限り学校施設等を活用し、遊びを主とした活動の中で児童の健全育成を図る。

#### 内容

夏季時点で居場所づくり事業未実施の6校で開設。長期休業中に保護者の就労等の理由により昼間留守家庭になる児童を対象とし、各小学校に指導員を配置、遊びを主とした様々な活動をとおして児童の健全育成を図った。

サマーサポート利用児童数 平成19年7月23日時点（単位：人）

小学校名	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
取手小	7	10	12	17	16	4	66
白山小	2	5	8	27	11	5	58
永山小	1	4	15	11	8	3	42
吉田小	3	5	4	8	11	2	33
井野小	2	3	8	8	10	2	33
藤代小	3	5	4	5	2	7	26
合計	18	32	51	76	58	23	258

## 効果

保護者の雇用継続（自宅外勤務）及び児童の健全育成に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.414

4101 国民文化祭に要する経費 1,492,144円（0円）

[一財 1,492,144円]

#### 目的

平成20年度（11月1日～9日）に茨城県で開催する国民文化祭において、取手市を全国に発信するための準備を目的とする。開催に先立ち、邦楽は県の芸術祭を、現代アートは取手アートプロジェクトによるオープンスタジオをプレ大会として開催することにより、認知度の低い国民文化祭が茨城県（取手市）で開かれることを広く周知する。

#### 内容

(1) 平成19年度徳島大会視察調査旅費 167,160円（職員2名分）

- ・邦楽、現代アート担当職員2名、企画委員5名（2泊3日）

企画委員旅費については実行委員会からの支出

- ・視察内容：開会式、各部門別「邦楽の祭典」「上勝アートプロジェクト」など

(2) 国民文化祭実行委員会負担金 1,324,984円

企画委員2名徳島大会視察調査旅費、広域文化交流事業基本計画策定委託料、邦楽・現代アート（ポスター、チラシ、プログラム等）印刷代

## 効果

平成20年度の開催に向けて、十分な準備ができ、広く周知することができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P.414

0501 公民館事務に要する経費 87,829,998 円 (68,826,084 円)

[地方債 14,100,000 円 その他 10,002,172 円 一財 63,727,826 円]

\* 特財内訳

[市債：公民館空調整備事業債 18,816,000×75% 14,100,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 9,468,000 円]

[諸収入：コピー使用料 516,512 円]

[諸収入：ファクシミリ使用料 20 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500 円]

[諸収入：電話通話料 7,140 円]

目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

内容

主な工事等

- ・ 藤代公民館 2 階講堂空調機工事 18,816,000 円
- ・ 藤代公民館 2 階和室・視聴覚室空調機修繕 2,778,300 円

効果

工事、修繕を実施したことで、利用者の利便性・安全性が向上した。

[担当：公民館] P.418

2101 公民館活動に要する経費 2,113,405 円 (2,317,564 円)

[一財 2,113,405 円]

目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数	事業内容及び結果
青少年	サマースクール	7～8月 6館	12	303	子供クッキング、トールペイント、タイル絵、お話マラソン会、カントリーダンス、絞り染等講座を実施した。
	平和映画会	8月 6館	6	435	総務課と共催。平和映画を鑑賞することにより、戦争の悲惨さ、平和の大切さを学ぶ。

	ラベンダースティック講座	6月	1	32	小学生を対象に公民館の庭に咲くラベンダーでスティックと香り袋を作成する講座を開催した。
	万華鏡をつくろう	11月	1	14	小学生を対象に万華鏡を作る講座を開催した。
	ミニ門松作り	12月	1	24	親子や兄弟でミニ門松作り講座を開催した。
	クリスマス人形劇	12月	1	150	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	手作りパン講座	1月	1	25	小学生を対象に、4種類のパンを作る講座を開催した。
	子どもふれあいスクール事業他	10~3月	8	383	新春子どもの集い、たこ作り教室、節分会ほか講座を開催した。
婦人	婦人学級	年間	1学級 12~13回	1学級 25人~48人 8学級(281人)	出合いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
	婦人学級全体会	3月	1	200	若林一声氏による講演会「21世紀はユーモア時代」
高齢者	高齢者学級	年間	1学級 11~12回	1学級につき 24人~77人 3学級(147人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	年間	11回	124	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
成人	取手生活学校	4~3月	11	23	移動学習等を通じ、主体的に活動した。
	ふるさと講座	5~11月	7	264	郷土に関することの学習を通じ、郷土愛と交流を深めた。
	パソコンを使ったプリント講座	9月	1	13	パソコンを使って写真や画像をTシャツなどにプリントし、自分だけの作品を作成した。
	友禅染体験	9月	1	16	初心者を対象に、友禅染でハンカチに絵付けした。
	消費生活講座	9月	1	37	シロアリ駆除など強引な契約の例による悪徳商法について学習した。
	悪徳商法、オレオレ詐欺撃退講座	10月	1	22	悪徳商法やオレオレ詐欺の対処法や心構えを学んだ。
	年金講座	11月	1	26	公的年金や個人年金について学習した。
	クリスマスリース作り	12月	1	15	クリスマスに向けて、リース作りを開催した。
	しめ飾り講座	12月 7館	7	225	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。

	そば打ち	6~11月 4館	4	63	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	囲碁講座	9~3月	12	48	初心者を対象に、囲碁の楽しさを学んだ。
	着付け	6~12月 2館	4	54	ゆかた、正月向け着物の着付けを学習した。
	お父さんのつどい	12/5	1	28	高須地区のお父さんの視察研修。(水戸・東海村方面)
	お母さんのつどい	3/6	1	29	高須地区のお母さんの視察研修。(小美玉、土浦方面)
一般	公民館まつり	2~3月 12館	1	-	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。
	ソフトボール大会	6,10,12月 4館	1	-	スポーツ(ソフトボール・ビーチボールバレー)の振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ビーチボールバレー大会	6月 2館	1	-	
	ゲートボール大会	10月 3館	1	-	
	ペタンク大会	10/20	1	78	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	夏まつり盆踊り大会	8月 5館	1	-	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。小文間は小文間音頭の伝統を伝え、踊りの普及にも寄与した。
	親子ふれあいフェスティバル	8/5	1	194	親子を対象に、流しそうめん大会等を高須公民館で実施し、地域間、世代間の交流を深めた。
	ファミリーウォークラリー	2/24	1	100	相馬南公民館まつりと同時開催。家族や仲間と地図を片手に歩くゲームを開催した。
	運動会	9,10月 4館	1	-	小文間、六郷、山王は小学校と合同で開催。相馬は単独で開催。市民の健康増進と地域親善を目指した。
	たこあげ大会	1/20	1	35	正月の風物詩たこあげで地域間・世代間の親睦を図った。
	菊花展	10~11月	2	190	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。高須、山王で開催。
	さつき展	6月	1	45	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	クリスマスコンサート	12月	1	150	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催した。
	世代間交流	7,12月	2	27	大人と子どもが一緒になって昔ながらの文化や伝統を学んだ。



(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H19	346	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H18	342		
小文間公民館	H19	331	1,277	11,463
	H18	331	1,290	12,064
永山公民館	H19	331	1,695	21,937
	H18	331	1,789	23,031
寺原公民館	H19	331	2,099	30,784
	H18	331	2,099	30,204
井野公民館	H19	331	2,824	48,377
	H18	331	2,884	49,714
戸頭公民館	H19	331	2,910	40,539
	H18	331	2,750	39,913
白山公民館	H19	331	2,135	37,038
	H18	331	2,037	35,751
藤代公民館	H19	331	2,510	41,752
	H18	331	2,813	44,270
山王公民館	H19	331	556	5,361
	H18	331	415	5,514
六郷公民館	H19	331	858	13,269
	H18	331	1,088	14,040
相馬公民館	H19	331	1,144	14,451
	H18	331	1,537	18,519
相馬南公民館	H19	331	1,589	19,863
	H18	331	820	11,394
高須公民館	H19	331	353	4,977
	H18	331	308	3,634
久賀公民館	H19	331	1,012	16,016
	H18	331	907	12,891
計	H19		20,962	305,827
	H18		20,737	300,939

効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.420

2001 図書館管理運営に要する経費 23,307,036 円 (24,258,595 円)

[一財 23,307,036 円]

目的

市民の図書館として、安全で快適な環境を提供し、適切な施設の維持管理を図る。

内容

施設の管理運営上、必要な維持管理を行った。

効果

施設の維持、修繕等を行うことにより、快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P.420

2101 図書館活動に要する経費 41,459,853 円 (51,098,665 円)

[その他 231,407 円 一財 41,228,446 円]

\* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 177,570 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 53,837 円]

目的

市民の多様化するニーズに応えるよう、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努める。

内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業 (利用者 714 組 1,428 冊 1,016,100 円)  
幼児・児童向け読み聞かせ(お話会 132 回開催 参加者 1,634 人)
- ・学校との連携 学校図書館への支援 (司書教諭との合同会議および研修 1 回)
- ・図書館だより ライブラリープラス(5 回発行)・ほんバナ(6 回発行)
- ・その他行事開催 検索機 OPAC 講習会開催 (6 日間開催 参加者 146 人)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6	7～12	13～ 15	16～ 18	19～ 22	23～ 29	30～39	40～ 49	50～ 59	60～	合計
H19	601	3,308	2,421	2,550	3,799	6,726	10,055	6,422	6,359	10,496	52,737
H18	542	3,324	2,362	2,511	3,614	6,610	9,157	5,835	6,476	9,147	49,578

(3) 利用状況

・入館者数・館別貸出者数・貸出冊数

館名	入館者数 (単位：人)		貸出者数 (単位：人)		貸出冊数 (単位：冊)	
	H19	H18	H19	H18	H19	H18
取手図書館	187,056	192,830	86,553	83,699	297,743	303,076
ふじしろ図書館	184,632	175,578	76,431	72,134	220,987	213,581
戸頭公民館図書室			40,439	40,679	128,368	133,143
小文間公民館図書室			359	303	764	755
寺原公民館図書室			2,373	2,316	5,634	5,647
永山公民館図書室			471	369	1,142	983
ゆうあいプラザ図書室			3,140	2,882	8,488	8,275
井野公民館			992	725	2,121	1,630
取手駅前窓口			2,966	2,005	5,817	3,908
合計	371,688	368,408	213,724	205,112	671,064	670,998

・予約（リクエスト）月別利用状況

月 別	予約（リクエスト）件数（件）	
	H19	H18
4月	7,433	6,967
5月	7,308	7,478
6月	6,632	5,718
7月	7,752	7,283
8月	7,841	7,024
9月	7,567	7,075
10月	7,775	7,406
11月	7,705	6,913
12月	7,741	6,843
1月	7,945	6,735
2月	8,085	6,997
3月	7,991	7,236
合 計	91,775	83,675

効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。また、ブックスタート事業を引き続き実施し、乳児と本との出会いの場を創出するとともに、子育て支援に貢献した。

[担当：図書館] P.424

2201 図書館資料購入に要する経費 36,077,704円（32,476,400円）

[その他 121,081円 一財 35,956,623円]

\* 特財内訳

[諸収入：図書弁償代 121,081円]

目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

蔵書冊数には寄贈本を含む。

館 名	図書（単位：冊）		雑誌（単位：種類）		AV（単位：件）	
	H19	H18	H19	H18	H19	H18
取手図書館	138,546	131,659	73	73		
ふじしろ図書館	95,467	91,117	112	118	3,502	3,101
戸頭公民館図書室	60,313	61,920	31	31		
小文間公民館図書室	2,282	2,275				
寺原公民館図書室	5,372	5,554				
永山公民館図書室	4,945	4,826				
ゆうあいプラザ図書室	11,815	12,144				
合 計	318,740	309,495	222	222	3,502	3,101

効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

## 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：文化芸術課 H20 教育総務課] P.426

2001 文化財保護に要する経費 21,856,629 円 (17,116,428 円)

[一財 21,856,629 円]

### 目的

文化財は住民の共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝えていく貴重な資料である。また、文化財を保護し活用することによって、住民が郷土史をより深く身近に理解することができる。市内にある国・県・市指定文化財の保存・活用を進め、その他、未指定の文化財についても調査を進める。

### 内容

#### (1) 指定文化財補助金交付 (21,761,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理 補助金(円)	防災設備保守点 検補助金(円)	その他 (円)
	補助率	定額	7/8 以内	1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	10,000	60,000	
県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	10,000		
県	大日山古墳	10,000		
県	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
県	長禅寺 三世堂	10,000	30,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	50,000	
市	東漸寺 山門・観音堂	10,000		21,430,000 [保存修理(観音堂復元)]
市	白山神社 本殿	10,000		10,000 [文化財防火デー(定額)]
市	中妻貝塚(福永寺)	10,000		81,000 [維持管理(草刈)]
市	金仙寺 阿弥陀如来座像	10,000		

#### (2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣(11月1日～11月7日)

公開日	内容	参加人数	備考
11/2～11/11	特別公開	496人	
11/2～11/4	掛け軸公開	391人	本陣・染野家に送られた水戸藩主直筆掛け軸の特別公開
11/3(祝)	講演会	77人	「水戸街道と取手・藤代宿」 講師：市埋文センター職員 定員：50名
合計		573人	

長禅寺三世堂（11月2日～11月4日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/3～11/5	内部特別公開	439人	

(3) 文化財防火デー（1月26日）に伴う防火訓練

発炎筒等消耗品費、記録用写真印刷製本費：86,725円

文化財への愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の中の建造物所有者に協力してもらい、毎年持ち回りで総合防火訓練を実施している。

実施日	実施文化財	参加者数	協 力 者	備 考
1/24	白山神社 本殿	50名	地元消防団 地元住民 文化財保護審議委員	取手消防署と共催

効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することによって、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民への文化財への理解と保護意識の高揚に寄与した。

[担当：文化芸術課 H20 教育総務課] P.426

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 15,984,491円（9,480,268円）

[国・県 3,500,000円 その他 240,000円 一財 12,244,491円]

\* 特財内訳

[県補：指定文化財改修補助金 補助対象事業費 7,000,500×1/2以内=3,500,000円]

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H19	週3日 (金・土・日)	119日	4,511人	37.9人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・展示ケース2つに本陣に関する資料を展示。資料は3ヶ月ごとに変えた。 ・希望する団体には職員が説明を行った。 主屋屋根工事のため、1月～3月臨時休館
H18	〃	159日	7,228人	45.5人	〃

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する経費：1,173,611円

内 訳	支 出 額
賃金（公開日の管理・清掃）	1,136,280円
消耗品費（パンフレット用紙等）	37,331円

・維持管理に関する経費：7,810,380円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	5,651,186円
日常管理委託料	478,800円
庭園維持管理委託料	756,000円
防災（設備点検委託、機械警備委託）	255,150円
火災保険料	70,737円
光熱水費等	262,822円
金閣寺垣修理	231,000円
東側囲い塀修理	75,600円
女子トイレ水栓修理	29,085円

(3) 主屋茅屋根差し茅工事：7,000,500円

平成4年から8年にかけて実施した修理で葺き替えた主屋茅屋根が10年以上経過し、磨耗が顕著になったため、差し茅を実施した。

実施場所：入母屋・西面・背面（北面）・東面の一部

内 容	工 期	支 出 額
指導者謝礼		60,000円
実施設計	H19.10.2～12.28	367,500円
工事監理	H20.1.16～3.28	315,000円
工事請負	H20.1.18～3.28	6,258,000円

効果

主屋屋根の差し茅工事は、県の補助を受け最小限の経費で、早い段階で対応できたため、文化財の保存に効果的な修理ができた。

また、旧取手宿本陣の常時公開は、市内文化財愛護・保護意識の向上のための拠点となっている。見学者の6割強が市外からの見学者であり、市内だけでなく地域の文化財のシンボリック的存在として理解を深めることができた。

[担当：文化芸術課 H20 教育総務課] P.428

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 7,957,169円（7,309,370円）

[国・県 4,000,000円 その他 1,954,240円 一財 2,002,929円]

\* 特財内訳

[国補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 6,000,000×1/2以内=3,000,000円]

[県補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 (6,000,000 - 国補3,000,000)×1/3以内=1,000,000円]

[負担金：発掘調査原因者負担金 1,888,800×1件=1,888,800円]

[諸収入：郷土史売却代 65,440円]

目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領によって埋蔵文化財保護の体制を整備・強化し、土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。

内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要（国・県補助事業）

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査については、国・県から補助金を受け、市が調査を実施した。（事業経費：6,009,989円）

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
花輪台遺跡 宅地造成・2366.49 m <sup>2</sup>	4/23	職員対応	遺構・遺物なし 補助対象外
台宿貝塚 共同住宅・1923.94 m <sup>2</sup>	4/27～5/7	使用料 39,900円	縄文時代・古代住居跡 補助対象外 原因者調査へ移行
西浦遺跡 個人住宅・395.05 m <sup>2</sup>	9/13	職員対応	遺物・遺物なし
稲向原 遺跡 宅地造成・1299 m <sup>2</sup>	9/13	使用料 70,350円	遺物・遺物なし
古戸城跡 医療施設・1482 m <sup>2</sup>	9/19・20	職員対応	遺構・遺物なし
台宿貝塚 個人住宅・117.83 m <sup>2</sup>	11/13	職員対応	遺構・遺物なし
中妻貝塚 C 地点 保存目的・308.59 m <sup>2</sup>	11/15～ H20.3/31	作業員 602.5人 賃金 3,174,633円 委託料 420,000円 使用料 684,850円	縄文時代貝塚・炉跡 縄文土器片出土
中妻貝塚 G 地点 保存目的・698.87 m <sup>2</sup>	11/15～ H20.3/31		縄文時代貝塚・近世墓坑 縄文土器片出土
中妻貝塚 H 地点 保存目的・151 m <sup>2</sup>	11/15～ H20.3/31		縄文時代貝塚 縄文土器片出土
大日山古墳 保存目的・1530.33 m <sup>2</sup>	3/18～28		遺構・遺物なし
仏島山古墳 保存目的・1200 m <sup>2</sup>	3/18～31		石棺・埴輪片出土
市内遺跡整理	1/4～3/31	作業員 168.5人 賃金 762,470円	平成19年度に実施した調査の出土品整理と報告書を編集。
「取手市内発掘調査報告書12」の印刷製本	2/25～3/31	需用費(印刷製本) 315,000円	平成19年度に実施した調査報告書を印刷。

(2) 台宿貝塚発掘調査(事業者(原因者)負担事業)

共同住宅建築により保存が困難である台宿貝塚を記録保存するための発掘調査事業。原因者である事業者の経費負担により実施した。

・発掘調査概要

事 項	概 要
調 査 実 施 区 域	取手市台宿1丁目2-2(1923.94 m <sup>2</sup> )
調 査 要 因	共同住宅建築に伴う事前発掘調査
出 土 品 等	縄文時代・奈良時代住居跡、近世墓坑、土坑 縄文土器、土師器・須恵器等
発 掘 作 業 期 間	平成19年5月28日～7月20日
整 理 作 業 期 間	平成19年7月1日～3月31日
報 告 書 印 刷 契 約 期 間	平成20年3月10日～3月31日

・調査経費（1,888,800円）

経費内訳	支出額	内容
発掘作業	1,210,562円	
賃金	(1,033,070円)	作業員賃金
需用費	(38,892円)	作業時消耗品
使用料	(138,600円)	作業重機賃借料
整理作業	510,238円	
賃金	(443,290円)	作業員賃金
需用費	(66,948円)	作業時消耗品
報告書作成	168,000円	
印刷製本費	(168,000円)	報告書印刷

効果

平成19年度は、8遺跡11件の確認調査を行い、縄文時代の貝塚及び古墳を調査し、土器や埴輪片など貴重な資料が多数出土した。特に、本年は県や市の史跡に指定されている中妻貝塚や大日山古墳の内容把握のための調査を実施し、貴重な資料を多数得ることができた。それにより、埋蔵文化財の保護に寄与するとともに、公開と研究のための資料を多数収集することができた。

[担当：文化芸術課 H20 教育総務課] P.428

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 628,059円（771,247円）

[一財 628,059円]

目的

文化財活用施設として、市内の貴重な考古、歴史資料を紹介し、市民や周辺地域に文化財行政や取手に対する理解と親しみを深める。

内容

(1) 年間来館者数

年度	平成19年度	平成18年度
来館者数	4,699人	7,836人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内容
第21回企画展 「2006発掘と発見・茨城県内遺跡発掘速報展」	19/2/27～ 4/20 開館46日 4/1以降は 17日	777人 (16.9人) 4/1以降は 263名	報償費、印刷費は平成18年度予算で対応(4/1以降は支出無し)	顕著な発掘成果があった県内3か所、市内1か所の遺跡と出土品などを紹介した。 4/14考古学講座「上高井神明遺跡の発掘」 参加者67名、講師：センター職員



第 22 回企画展 「国家の風景 - 埴輪の描く 古代 - 」	7/24～9/21 開館 52 日	871 人 (16.8 人)	報償費 20,000 円 印刷費 228,900 円 (ポスター、解説 図録)	古代国家形成期の取手の歴史を、古墳から出土した埴輪から考察した。 9/8 講演会「東国の埴輪」 参加者 80 名、講師：諸星政得氏（市文化財保護審議委員）
第 23 回企画展 「江戸時代の 取手 - 相馬 二万石と谷原 三万石 - 」	20/2/19～ 4/18 開館 52 日 内 3/31 まで で 36 日	2,213 人 (42.6 人) 内 3/31 まで で 1,125 人	報償費 20,000 円 印刷費 262,500 円 (ポスター、解説 図録)	江戸時代初めの新田開発により、郷土発展の基礎を築いた先人たちの労苦を偲んだ。 3/8 講演会「関東郡代伊奈忠治と新田開発」 参加者 163 名、講師：和泉清司氏（高崎経済大学教授）

#### 効果

平成 19 年度は企画展の開催回数の減に伴い、来館者数は減少した。しかし開館時(平成 11 年)から見ると、平成 18 年度に次ぐ来館者数があり、センターの存在と活動が市民に浸透し理解されてきていることがうかがえる。これにより郷土史への理解と愛着を深めるとともに、埋蔵文化財行政や郷土資料収集保存事業など、市の文化財行政に対する理解と協力を深めることができた。

#### 6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.432

1001 体育指導委員に要する経費 1,744,100 円 (1,858,940 円)

[一財 1,744,100 円]

##### 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

##### 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によりニュースポーツの普及と拡大に努めた。

体育指導委員報酬 年額@49,000×29人=1,421,000円

##### 効果

体育指導委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.434

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 11,017,000 円 (11,017,000 円)

[一財 11,017,000 円]

##### 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

##### 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29部 214団体	6,236人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	11連盟 40単位団	指導者 352人 団員 1,165人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各講習・研修会への参加

#### 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.434

2002 社会体育振興関係経費 1,148,998円(1,508,672円)

[その他 47,300円 一財 1,101,698円]

\* 特財内訳

[諸収入：ビーチボールバレー用ボール売却代 47,300円]

#### 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

#### 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

#### (1) 各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第12回小学生ドッジボール大会	210人	取手グリーンスポーツセンター
第39回市民釣り大会	26人	さくら湖(小掘地先)
第38回市民ゴルフ大会	189人	利根パークゴルフ場
第4回市民親善ソフトボール大会	230人	取手緑地運動公園
第16回ソフトバレーボール大会	264人	取手グリーンスポーツセンター
第8回グラウンドゴルフ大会	123人	取手緑地運動公園
ニュースポーツ体験会及び体力測定	41人	藤代スポーツセンター
第36回新春健康マラソン大会	2,060人	取手緑地運動公園
第15回ふれあいウォーキング	211人	小貝川ヘルスロードコース
第2回市民ペタンク大会	182人	北浦川緑地

## 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.434

2003 スポーツ振興奨励関係経費 1,315,000 円 (995,000 円)

[一財 1,315,000 円]

### 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

### 内容

県大会等に出場した者に対し、助成金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。また各町内会で実施されている運動会に対し助成した。

助成金交付対象 ・団体 21 件 ・個人 121 件

運動会助成交付地区名 ・白山町内会、台宿町内会

### 効果

助成金制度を充実することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.436

2101 学校施設開放に要する経費 604,102 円 (2,093,180 円)

[一財 604,102 円]

### 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

### 内容

市民が行うスポーツレクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H19	227 団体	355,538 人	25 校	58
H18	226 団体	366,808 人	26 校	60

### 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

## 6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.436

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 130,076,420 円  
(128,337,499 円)

[一財 130,076,420 円]

### 目的

生涯学習の拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

・指定管理料 125,146,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H19	H18	増減
室内プール	85,013	88,172	3,159
遊水プール	16,348	15,394	954
第一体育室	51,569	52,444	875
第二体育室	8,730	9,408	678
トレーニング室	38,634	39,000	366
柔道場	10,690	10,391	299
剣道場	12,314	14,177	1,863
弓道場	10,767	11,658	891
スポーツサウナ	283	273	10
健康相談室	84	78	6
スポーツ障害相談室	246	185	61
研修室	7,604	6,380	1,224
会議室	1,100	865	235
和室	748	557	191
その他	13,077	13,559	482
合計	257,207	262,541	5,334

効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.436

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 32,536,585 円 (35,716,860 円)

[その他 6,606,460 円 一財 25,930,125 円]

\* 特財内訳

[使用料：テニスコート使用料 1,598,480 円]

[使用料：野球場使用料 1,265,250 円]

[使用料：多目的グラウンド使用料 328,050 円]

[使用料：総合体育館使用料 2,568,080 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 800,000 円]

[諸収入：コピー使用料 46,600 円]

目的

生涯スポーツ振興の拠点として、藤代スポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適切な維持及び管理を行うことで、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

内容

(単位：人)

施設名	H19	H18	増減
アリーナ	29,566	25,274	4,292
レクリエーション室	4,342	3,975	367
多目的グラウンド	9,059	9,789	730
野球場	12,920	11,852	1,068
藤スポ・テニスコート	10,219	10,048	171
久賀テニスコート	836	858	22
会議室	811	1,488	677
合計	67,753	63,284	4,469

効果

年間を通じて、市民のスポーツ振興の拠点として健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.438

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,718,956 円 (4,884,685 円)

[一財 4,718,956 円]

目的

藤代武道場の円滑な管理運営を図ることで、市民の健康増進と団体相互の交流を深める。

内容

(単位：人)

施設名	H19	H18	増減
柔道場	13,660	15,293	1,633
小剣道場	17,052	16,968	84
弓道場	2,439	2,943	504
師範室	1,522	1,792	270
合計	34,673	36,996	2,323

効果

幅広い年代層の利用により、市民の健康増進や交流に寄与することができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：保健給食課] P.442

2001 給食センター運営に要する経費 135,080,203 円 (141,574,349 円)

[その他 123,588,097 円 一財 11,492,106 円]

\* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 2,468,822 円]

[諸収入：小学校給食代(センター分) 77,782,065 円]

[諸収入：中学校給食代(センター分) 43,337,210 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料（職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査）及び負担金等である。

効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：保健給食課] P.442

2101 給食センター施設整備に要する経費 29,085,060 円（26,955,663 円）

[一財 29,085,060 円]

目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費 (単位：円)

項目	内容	金額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,314,849
修繕料	調理器具等修繕料	3,560,539

(2) 委託料 (単位：円)

項目	内容	金額
給食運搬業務委託	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	13,288,000
電気保安業務委託	電気設備の安全管理	126,000
受水槽清掃委託	受水槽の清掃	105,000
空調機保守点検委託	空調機の保守点検	148,050
真空冷却機点検委託	真空冷却機の点検	336,000
ガス空調機保守点検委託	ガス空調機保守点検	437,850
汚水・排水処理施設清掃点検委託	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	2,053,800
ボイラー設備総合管理委託	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃	777,000
冷凍・冷蔵設備保守点検委託	冷凍・冷蔵設備の点検	136,500
高窓・排気ダクト清掃委託	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	215,250

(3) 備品 (単位：円)

項目	内容	金額
ドライ L 型運搬車	既存台車の老朽化による更新	99,750

効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に予定どおりの給食を提供することができた。